

1 平成29年度事業報告書

第1 基本財産

平成29年度末基本財産 3,940,161千円

運営基金	526,799千円
助成基金	3,413,362千円
再掲 保健福祉基金	2,379,070千円
子ども希望基金	1,034,292千円

※ 金額は、取得金額（基本財産元本）

第2 庶務の事項

1 役員・評議員構成

(平成30年3月31日現在,敬称略、五十音順)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	長 山 洋	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会会長
理 事	木 村 宗 孝	一般社団法人岩手県医師会常任理事
	熊 谷 泰 樹	岩手県保健福祉部副部長
	坂 口 繁 治	一般社団法人岩手県社会福祉士会会長
	高 橋 喜三郎	一般社団法人岩手県芸術文化協会副会長
	根 子 忠 美	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会専務理事
	平 藤 淳	公益財団法人岩手県体育協会副会長兼理事長
	藤 原 敬	株式会社岩手日報社常勤監査役
専務理事	佐 藤 勝	公益財団法人いきいき岩手支援財団事務局長
監 事	梅 木 敬 時	梅木敬時税理士事務所所長
	松 川 求	元岩手県環境生活部長
評 議 員	及 川 吏智子	公益社団法人岩手県看護協会会長
	黒 澤 克 哉	岩手町健康福祉課長
	佐 藤 達 夫	一般財団法人岩手県老人クラブ連合会会長
	菅 原 和 弘	岩手県中小企業団体中央会専務理事
	平 賀 圭 子	特定非営利活動法人参画プランニング・いわて理事長
	細 江 達 郎	岩手県立大学名誉教授
	米 田 ハツエ	岩手県民生児童委員協議会副会長
	村 上 秀 樹	盛岡市保健福祉部長

2 理事会の開催状況

(1) 第18回理事会の開催及び決議の省略（定款第35条第2項）

ア 理事会決議のあったものとみなされる事項

議案第1号 評議員の決議の省略についての承認について

議案第2号 評議員の補欠選任について

議案第3号 理事の補欠選任について

議案第4号 決議のあったとみなす日

平成29年5月9日（火）

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事 長山 洋

ウ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事 長山 洋

(2) 第19回理事会

ア 開催日：平成29年5月25日（木）

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第1号 平成28年度事業報告及び収支決算について

議案第2号 平成29年度補正予算について

議案第3号 収支予算書に対する注記について

議案第4号 第16回評議員会の開催日程について

(3) 第20回理事会の開催及び決議の省略（定款第35条第2項）

ア 理事会決議のあったものとみなされる事項

議案第1号 評議員の決議の省略についての承認について

議案第2号 理事の補欠選任について

議案第3号 決議のあったとみなす日

平成29年8月2日（水）

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事 長山 洋

ウ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事 長山 洋

(4) 第21回理事会

ア 開催日：平成30年3月13日（火）

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第1号 平成29年度補正予算について

- 議案第2号 平成30年度事業計画及び収支予算について
- 議案第3号 収支予算に対する注記について
- 議案第4号 平成30年度資産運用計画について
- 議案第5号 事業内容の変更に伴う認定申請について
- 議案第6号 第19回評議員会の開催日程について

3 評議員会の開催状況

(1) 第15回評議員会の開催及び決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条）

ア 評議員会決議のあったものとみなされる事項

議案第1号 評議員の補欠選任について

議案第2号 理事の補欠選任について

議案第3号 決議のあったとみなす日

平成29年5月9日（火）

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事 長山 洋

ウ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事 長山 洋

(2) 第16回評議員会

ア 開催日：平成29年6月20日（火）

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第1号 平成28年度収支決算について

議案第2号 平成29年度補正予算について

議案第3号 収支予算書に対する注記について

(3) 第17回評議員会の開催及び決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条）

ア 評議員会決議のあったものとみなされる事項

議案第1号 理事の補欠選任について

議案第2号 決議のあったとみなす日

平成29年8月2日（水）

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事 長山 洋

ウ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事 長山 洋

(4) 第19回評議員会

ア 開催日：平成30年3月23日(金)

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議事

議案第1号 平成29年度補正予算について

議案第2号 平成30年度事業計画及び収支予算について

議案第3号 収支予算書に対する注記について

議案第4号 事業内容の変更に伴う認定申請について

4 監事監査

(1) 実施：平成29年5月18日(木)

(2) 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

(3) 監査事項：平成28年度事業実施状況及び収支決算について

5 監事による上半期会計監査

(1) 実施：平成29年10月26日(水)

(2) 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

(3) 調査事項：平成29年度上半期の会計状況の確認

6 全国明るい長寿社会づくり推進機構関係

(1) 平成29年度第1回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

開催日：平成29年6月29日(木) 場所：東京都

内容：平成28年度事業報告及び決算報告及び平成29年度事業の実施等について

(2) 北海道・東北ブロック明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会

開催日：平成29年12月19日(火)～20日(水) 場所：仙台市

内容：全国共通課題協議及び研修等

(3) 平成29年度第2回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

開催日：平成30年2月23日(金) 場所：東京都

内容：平成30年度事業計画及び収支予算等について

第31回全国健康福祉祭とやま大会概要説明

第32回全国健康福祉祭和歌山大会概要説明 ほか

第3 実施事業

Ⅰ 健康いきがづくり支援事業(公益事業1)

[全ての人々が健康で生き生きと暮らすことができる地域社会の形成に寄与する事業]

1 少子高齢社会に対応する民間・地域等の取組み支援

(1) 「いわて保健福祉基金」助成事業(継続)

保健福祉又は地域福祉の増進を図るため、民間団体等が実施する先駆的、先導的な事業や高齢者の社会貢献活動に対して助成した。

ア 一般枠分	42事業	25,995千円
	(平成28年度	49事業 34,402千円)
在宅保健福祉普及向上事業	9事業	6,615千円
	(10事業	8,104千円)
健康、いきがづくり推進事業	13事業	7,717千円
	(22事業	15,212千円)
ボランティア活動活性化事業	9事業	4,980千円
	(9事業	6,794千円)
その他の事業	11事業	6,683千円
	(8事業	4,292千円)
イ 特別枠分(ご近所支え合い活動助成分)	54事業	6,349千円
	(55事業	6,187千円)

(2) 「いわて子ども希望基金」助成等事業(継続)

ア 「いわて子ども希望基金」

子育て支援や子どもの健全育成など、少子化対策の推進を図るため、民間団体等が実施する先駆的、先導的な事業に対して助成した。

① i・出会い応援事業	7事業	1,444千円
	(10事業	2,283千円)
② 地域子育て活動支援事業	34事業	10,259千円
	(26事業	6,920千円)
③ 子育てにやさしい職場環境づくり助成事業	14団体	3,120千円
	(10団体	2,000千円)

イ 経営者等セミナー開催事業（継続）

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」への理解やその取り組み等を推進するため、企業や社会福祉施設の経営者等を対象に内閣府地域働き方改革支援チーム委員 渥美由喜氏による講演を行なった。

11月9日 盛岡市「プラザおでって」 参加者 49人（50人）

2 少子高齢社会に関する普及啓発

普及啓発事業（継続）

情報誌の発行、インターネット及び広報媒体の活用により、少子高齢社会に対する県民の理解と関心を深めるための啓発活動を行った。

ア 情報誌「いきいきイーハトープ」の発行（ホームページ掲載）

4回：6月（第17号）、9月（第18号）、10月（第19号）、3月（第20号）

イ ホームページの随時更新による最新情報提供

ホームページのアクセス数： 41,212件（37,407件）

3 高齢者等の健康の保持増進と生きがいの高揚推進

(1) 明るい長寿社会づくり推進事業

高齢者の健康の保持と生きがいの高揚を図るため、岩手県長寿社会健康と福祉のまつりの実施や第30回全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣等を行った。

ア 第 29 回岩手県長寿社会健康と福祉のまつり事業（継続）

種 目 区 分	開 催 期 日	開 催 場 所 等	参 加 者 数	
県 民 長 寿 文 化 祭	作品展	29. 6. 2 (金) ~4 (日)	盛岡市市民文化ホー ル(出展数 122 点)	1, 022 人 (1, 102 人)
	囲碁大会	29. 12. 3 (日)	盛岡市農林会館	59 人 (48 人)
	将棋大会	29. 7. 9 (日)	北上市総合福祉セン ター	55 人 (48 人)
	小計			1, 136 人 (1, 198 人)
県 民 長 寿 体 育 祭	スポーツ交流大 会(9種目)	29. 5. 19 (金) ~10. 4 (水)	盛岡市、遠野市、 花巻市	1, 357 人 (1, 236 人)
	ふれあいスポ ーツ交流大会 (4種目)	29. 9. 3 (日) ~9. 23 (土)	盛岡市、奥州市、 一戸町	695 人 (713 人)
	いきいきシニ アスポーツ大 会(6種目)	29. 9. 2 (土)	盛岡市	1, 354 人 (1, 250 人)
	小計			3, 406 人 (3, 199 人)
合 計			4, 542 人 (4, 397 人)	

イ 第 30 回全国健康福祉祭あきた大会参加推進事業（継続）

9月9日（土）から12日（火）まで秋田県内で開催されたスポーツ交流大会等に県選手団を派遣した。

派遣選手等 177 人、役員等 8 人 計 185 人（参加費用の 1/3 を補助）
 (163 人、 5 人 計 168 人)

4 高齢者等への総合的な支援

(1) 岩手県高齢者総合支援センター運営事業（継続）

（※当センターは県が平成 21 年度に設置し、当財団が運営を受託している。）

ア 一般相談

高齢者の生活全般に係る電話及び来所相談に支援相談員が対応した。

月曜日から金曜日の 9 時から 17 時まで実施 相談件数 1,372 件 (1,754 件)

イ 専門相談

弁護士、司法書士などにより専門性の高い法律、認知症、人生などの相談を実施した。

毎月 3 回 相談件数 131 件 (215 件)

ウ 特別相談（シルバー110 番特別相談デー）

老人福祉月間に合わせ、弁護士、医師などによる特別相談を実施した。

9 月 9 日（土） 相談件数 22 件 (21 件)

エ 地域包括支援センターからの相談への支援

地域包括支援センター職員からの相談に社会福祉士、保健師、介護支援専門員が対応した。

相談件数 168 件 (196 件)

オ 認知症対策事業

認知症の正しい知識と理解の普及啓発や認知症の人及び家族への支援を行った。

① 認知症の本人及び家族向け電話相談

平成 24 年 4 月に設置した「いわて認知症の人と家族の電話相談」

（電話 0197-64-5112）の運営を認知症の人と家族の会に委託して実施した。

相談件数 69 件 (287 件)

② 地域交流集会

認知症の人や家族等を対象とした「つどい」を県内 13 市町村で開催した。

119 回 参加者 1,258 人 (147 回 参加者 981 人)

③ セミナーの開催

県民に認知症理解と予防を普及啓発するため、劇団の公演や認知症の人と家族の会顧問 高見国生 氏による講演等セミナーを開催した。

11 月 9 日 盛岡市民文化ホール小ホール 参加者 256 人 (251 人)

④ 認知症サポーター事務局の運営

認知症キャラバン・メイト養成研修 1 回 修了者数 80 人

(1 回 修了者数 76 人)

認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修 1 回 参加者数 27 人

(1 回 参加者数 27 人)

認知症サポーター養成講座の実施 26回 受講者数 587人
(21回 受講者数 731人)

市町村認知症サポーター事務局情報交換会の開催 1回 29人 (1回 16人)

(2) セミナー開催事業

高齢者権利擁護セミナーの開催

高齢者の虐待防止等に関わる高齢者の権利等の県民への理解の普及啓発を図るため、寸劇を行うとともに、ジャーナリストの 鳥越俊太郎 氏による講演を行った。

10月13日 盛岡市「いわて県民情報交流センター」 参加者 351人 (412人)

II 高齢者福祉サービス推進事業(公益事業2)

[高齢者等への保健・医療・福祉サービス等の質の向上に寄与する事業]

1 高齢者を支援する者の資質の向上を図るための研修事業

(1) 岩手県高齢者総合支援センター運営事業(継続)

ア 高齢者介護や相談等に必要な専門知識・技術を習得するための研修を実施し、高齢者への総合的な支援を行った。

① 地域包括支援センター等の職員研修 5回 715人 (5回 587人)

② 地域包括支援センターが実施する研修への講師の紹介等の支援
9回 参加者 397人 (12回 参加者 559人)

イ 権利擁護に関する研修

判断能力が十分でない高齢者の権利や財産を守る権利擁護に関する研修、事例検討会を広域振興局等と連携し実施した。 地域研修会 4回 202人 (4回 212人)

ウ 福祉用具・住宅改修に関する研修

要介護高齢者に適正な福祉用具の使用及び適切な住宅改修が図られるよう、福祉用具の使用及び住宅改修に関する知識、技術を習得するための研修を実施した。

福祉用具・住宅改修研修 3回 190人 (5回 239人)

(2) 地域包括ケアシステム基盤確立事業(継続)

ア 地域包括ケアシステム情報提供事業

県民等を対象とし、地域包括ケアシステムの必要性やその内容について理解を深めるための公開講座を開催した。 1回 96人 (1回 135人)

イ 認知症初期集中支援チーム運営等研修事業

平成29年度末までに全市町村に設置することとされている「認知症初期集中支援チーム」の設置促進等に向けた研修会を開催した。 2回 119人 (1回 84人)

ウ 認知症地域支援推進員体制整備事業

平成29年度末までに全市町村に設置することとされている「認知症地域支援推進員」の養成等に向けた研修会及び連絡会を開催した。

① 認知症地域支援推進員養成研修会 1回 34人 (1回 71人)

② 認知症地域支援推進員連絡会 1回 34人 (1回 30人)

③ 認知症ケア向上支援会議 2回 106人 (1回 93人)

エ 地域ケア会議活用推進事業

市町村または地域包括支援センターが開催する「地域ケア会議」の運営等について助言を行うために専門職を派遣した。

21市町 21回(3市町 4回)(弁護士 10回(2回)、社会福祉士 11回(2回))
 オ 生活支援サービスの充実・強化事業

介護予防事業へのリハビリテーション専門職の参画を推進するための研修会や市町村が新たに配置することとなる「生活支援コーディネーター」の養成を図るため研修会及び連絡会を開催した。

① 介護予防事業へのリハ職参画に係る研修会	5回	213人	(1回 178人)
② 訪問リハ・通所リハ従事者研修会(新規)	1回	74人	(-)
③ リハビリテーション専門職連絡会議(新規)	1回	32人	(-)
④ 生活支援コーディネーター養成研修会	1回	73人	(1回 99人)
⑤ 生活支援コーディネーター連絡会	2回	147人	(1回 61人)

(3) 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業(継続)

福祉用具・介護ロボットを介護現場への導入及び活用促進を図るため、公益財団法人テクノエイド協会(全国の福祉用具の中央団体)から交付金を得て実施した。

ア 体験会・展示会の開催

高齢者介護職員等を対象に3月6日に開催した。

盛岡市「ホテルルイズ」 参加者 236人(180人)

イ ワークショップの開催	介護老人福祉施設 1ヶ所
ウ アンケート調査の実施	県内介護保険施設 240ヶ所
エ 常設展示	見学・体験者 601人(385人)

(4) 認知症介護に関する研修事業(継続)

認知症介護サービスを提供する管理者や介護従事者等に対し、認知症介護の質の向上を図るための研修を実施した。

修了者数: 943人(908人)

ア 認知症介護サービス事業開設者研修	1回	32人	(1回 20人)
イ 認知症対応型サービス事業管理者研修	2回	142人	(2回 117人)
ウ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	1回	44人	(1回 34人)
エ 認知症介護実践者研修	3回	390人	(3回 399人)
オ 認知症介護実践リーダー研修	1回	68人	(1回 52人)
カ 認知症介護基礎研修	3回	267人	(3回 286人)

(5) 権利擁護に関する研修事業(継続)

介護保険施設等の職員を対象とし、身体拘束廃止・虐待防止に向けた啓発を図るための研修を実施した。

修了者数: 135人(154人)

ア 権利擁護推進員養成研修

身体拘束廃止等の取り組みを指導する職員を対象に実施

1回 79人 (1回 70人)

イ 権利擁護看護実務者研修

医療的な観点から身体拘束廃止等に取り組む職員を対象に実施

1回 56人 (1回 84人)

(6) 地域づくりによる介護予防推進支援事業 (新規)

市町村が行う介護予防に資する住民主体の通いの場づくりを支援するため、セミナーや研修会を開催した。

ア 介護予防推進支援セミナー 参加者 70人

イ アドバイザー会議 2回

ウ アドバイザー養成会議

① 基礎研修 1回、14人

② 先進地研修 1回、8人

③ 合同研修 1回、13人

エ 市町村へのアドバイザー派遣調整等 100回

2 介護支援専門員の養成を行う事業

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験 (継続)

介護支援専門員となるための「実務研修」を受講するに際して、事前に介護支援専門員の業務に関する知識や技能を有することを確認するために試験を実施した。

ア 実施時期：10月8日 (日)

イ 受験者数：1,645人 (1,566人)、合格者数：302人 (162人)、合格率：18.3%
(10.3%)

(2) 介護支援専門員実務研修・現任研修等実施事業

ア 介護支援専門員実務研修事業 (継続)

介護支援専門員実務研修受講試験に合格した者を対象に研修を実施した。

① 実施時期：12月～3月 87時間

② 受講者数：298人 (155人)

イ 介護支援専門員更新研修・再研修 (継続)

実務未経験者で介護支援専門員証を更新する者及び介護支援専門員証を失効した後、再交付を希望する者を対象に研修を実施した。

① 実施時期：5月～6月 46.5時間

② 受講者数：198人(119人)

ウ 介護支援専門員専門研修事業（実務経験者の更新研修と同時開催）（継続）

介護支援専門員の専門性を高めるため、必要な専門知識、技能の研修を実施した。

① 専門研修課程Ⅰ（同内容の更新研修を含む）

(ア) 実施時期：6月～8月 56時間

(イ) 受講者数：204人(187人)

② 専門研修課程Ⅱ（同内容の更新研修を含む）

(ア) 実施時期：9月～11月 32時間

(イ) 受講者数：512人(313人)

エ 主任介護支援専門員研修事業（継続）

介護サービス提供者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するための研修を実施した。

① 実施時期：9月～12月 70時間

② 受講者数：76人(73人)

オ 主任介護支援専門員更新研修（継続）

主任介護支援専門員の継続的な資質向上を図るための定期的な研修機会を確保し、主任介護支援専門員の能力の保持向上を図る。

① 実施時期：11月～12月 47.5時間

② 受講者数：175人(98人)

3 介護サービス情報を公表する事業

介護サービス情報の公表事業（継続）

介護保険法第115条の42に基づく指定情報公表センターとして、県が策定する計画に基づき、介護サービス情報の報告の受理に関する事務、介護サービス情報の公表に関する事務等を実施した。

情報公表実施件数 2,125件(1,999件)

4 地域密着型サービスを外部から評価する事業

地域密着型サービス外部評価事業（事業休止）

Ⅲ 被災地支援事業（その他事業1）

[被災高齢者等への支援や介護予防を行う事業]

被災地地域包括ケア支援事業（継続）

東日本大震災津波による被災地に大槌センターを設置し、支援相談員4名を配置するなどにより、被災地域の地域包括支援センター等の業務支援を行った。

(1) 大槌町において、巡回相談を実施した。

巡回相談 531人 (784人)

(2) 陸前高田市、大槌町及び山田町における介護予防教室等への支援を行った。

陸前高田市 10回 249人 (30回 440人)

大槌町 30回 496人 (16回 222人)

山田町 53回 1,071人 (50回 1,042人)

(3) 大槌町において、健康相談・サロンの開催支援を行った。

大槌町 219回 1,132人 (230回 1,128人)

(4) 地域包括支援センター職員、介護サービス事業者向けの研修を実施した。

4回 受講者数 117人 (4回 受講者数 216人)

(5) 被災地の介護予防普及研修会を実施した。 6回 785人 (5回 277人)

(6) 要介護高齢者等に対する虐待防止、認知症支援等の普及啓発を行った。

Ⅳ “いきいき岩手”結婚サポートセンター運営事業（その他事業２）

県内の結婚を望む人を支援するため、岩手県、県内全市町村、関係８団体と連携し、“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i-サポ」を盛岡市、宮古市及び奥州市（10/1）に開設し、マッチングサポートによる支援を行った。

(1) マッチング事業

会員登録者数 1,105 人（996 人）、お見合い件数（累計）1,110 件（559 件）、交際件数（累計）539 組（272 組）、成婚数（累計）35 組（10 組）

(2) 出張サービス

釜石市 24 回（12 回） 利用者数 60 人（36 人）

久慈市 24 回（11 回） 利用者数 35 人（28 人）

二戸市 12 回（－） 利用者数 31 人（－）

(3) 結婚支援フォーラムの開催

「男と女の脳科学～心のミゾを科学する～」をテーマに、格式会社感性リサーチ代表取締役社長 黒川伊保子氏による講演と、八幡平市社会福祉課及び認定 NPO 法人いわて子育てネットによる事例報告を行なった。

平成 30 年 2 月 7 日（水） 盛岡市「プラザおでって」 参加者 135 人

(4) 情報発信

ア ホームページ運営

イベント情報の発信、各種会員登録受付

メルマガ会員 420 人（350 人）、出会い応援団 58 団体（36 団体）、社員の結婚応援企業 7 団体（6 団体）

イ i-サポの P R

宮古エリア情報誌等掲載（4 回）、宮古市産業祭り出店 P R（9 月）、日報週刊いわて TV ガイド（11 月・12 月）、いわにちりピング広告掲載（4 回）、県南及び県北地域の企業・結婚支援団地等訪問（27 企業・団体）

ウ 県の広報媒体を活用した P R

宝くじ社会貢献広報（8 月、i-サポ動画放送）、TV わんこ広報室（11 月）、じゃじゃ TV（3 月）、新聞広報（岩手日報・岩手日日・東海新報・釜石新聞 9 月）、ツイッター広報（9・10・3 月）

エ 県外向け P R

ふるさと回帰支援センターへのパンフレット配架（東京都）、岩手ふるさと暮らし相談会&セミナー（6 月東京都）、東北 U ターン大相談会（7 月）、岩手県 U・I ターンフェア（8 月）